

やすらぎコース 災害備蓄物資

～被災時の保育園の命をつなぐ～

①取組内容

香美市立6保育園においては、約530名の園児が在籍しています。各保育園において、南海トラフ地震を含めた災害対策は喫緊の課題であり、対策の一環として、被災時の命をつなぐことを目的とした災害備蓄物資(備蓄食糧(消費期限5年)、使い捨て哺乳瓶、ラップフィルム等の物品)を5年ごとに購入しています。

②取組にあたり工夫した点や注力した点

園児の食に関しては、アレルギー対策、清潔な食器の確保等、様々な課題があります。これらの課題を解決するために、アレルギー対応食とともに、食器を清潔に保つためのラップフィルムを購入しました。

③取組による効果

災害備蓄物資の購入により、今後5年間の食糧等を確保することができましたが、地震だけでなく、出水期の豪雨災害、水害等、災害への懸念は絶えません。物資購入後、各保育園においては、数量及び割当の確認等、迅速な被災時の対応を想定した準備作業を行いました。今後も定期的な避難訓練に併せて、こうした準備作業を実施し、安心・安全な保育活動に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

【なかよし保育園】



【あけぼの保育園】



【片地保育園】



【新改保育園】



【美良布保育園】



【大栃保育園】

